

令和 6 年度

秋田自動車道
鈴鴨川橋基本詳細設計

特記仕様書（案）

令和 6 年 5 月

東日本高速道路株式会社
東北支社横手工事事務所

第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	管理技術者の経験及び資格	1
1-4	現場作業責任者の経験及び資格	1
1-5	照査技術者の経験及び資格	1
1-6	資料の貸与	2
1-7	受注者相互の協力	2
1-8	発注者または監督員が行う協議	2
1-9	計画工程表	3
1-10	調査等打合簿の作成及び提出について	3
1-11	工事記録情報の作成及び提出について	4
1-12	三者協議会について	4
1-13	合同現地調査	4
1-14	ウィークリースタンスの取組み	4

第2章 業務細部に関する事項

2-1	業務の概要	5
2-2	設計条件	5
2-3	構造物設計	5
2-4	附帯工設計	6
2-5	設計打合せ	7
2-6	交通費・日当・宿泊費	7
2-7	成果品に関する細部事項	7

第3章 補足事項

3-1	設計図書の変更及び追加が予想される内容	8
3-2	3次元モデルの作成について	8

添付資料

様式-1 工事記録情報 完了届

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 秋田自動車道 鈴鴨川橋基本詳細設計

1-1-2 道路名 秋田自動車道

1-1-3 設計対象橋梁 鈴鴨川橋（下り線）

1-1-4 履行箇所 自）岩手県北上市和賀町山口 （S T A. 0 + 6 9 . 0 0）

至）岩手県北上市和賀町山口 （S T A. 2 + 2 6 . 0 0）

1-1-5 主な履行内容	構造物設計	上部工設計	1 連
		橋台設計	2 基
		橋脚設計	2 基
		基礎工設計	2 基
		仮設構造物設計 一重締切工	2 箇所
		動的解析	1 連
	附帯工設計	詳細図作成	5 枚

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

1-3 管理技術者の経験及び資格

1-3-1 管理技術者の経験

管理技術者の経験については、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-3-2 管理技術者の資格要件

共通仕様書1-7-1「管理技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-4 現場作業責任者の経験及び資格

1-4-1 現場作業責任者の経験

現場作業責任者の経験については、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-4-2 現場作業責任者の資格要件

共通仕様書1-8-2「現場作業責任者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-5 照査技術者の経験及び資格

1-5-1 照査技術者の経験

照査技術者の経験については、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-5-2 照査技術者の資格要件

共通仕様書1-9-2「照査技術者の資格要件」については、共通仕様書によらず、当該業務の入札公告（説明書）に示すとおりとする。

1-6 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備 考
完成図（Ⅰ期線）	—	契約締結後	紙または電子成果品
付加車線検討業務報告書	平成25年度 東北支社管内 付加車線検討業務		
	平成30年度 東北支社管内北 道路構造検討業務		
測量成果品 （Ⅱ期線）	秋田自動車道 北上西～小荒沢間路線測量		
	秋田自動車道 北上西地区詳細測量		
土質地質調査報告書 （Ⅰ期線）	東北横断自動車道秋田線 和賀～湯田間地質調査		
	東北横断自動車道 山口地区構造物地質調査		
土質地質調査報告書 （Ⅱ期線）	秋田自動車道 北上西地区構造物基礎調査		
工事用進入路検討 （Ⅱ期線）	秋田自動車道 北上西～湯田間施工計画検討業務		
橋梁基本詳細設計成果品 （Ⅰ期線）	秋田自動車道 鈴鴨川橋基本詳細設計		
	秋田自動車道 鈴鴨川橋他1橋（PC上部工）工事		
橋梁概略形式検討 （Ⅱ期線）	秋田自動車道 北上西地区橋梁形式検討業務		
工事用道路測量設計 （Ⅱ期線）	秋田自動車道 天ヶ瀬地区工事用道路測量設計		

1-7 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	備 考
秋田自動車道 北上西地区道路詳細設計	令和5年8月5日～ 令和7年1月25日	中央復建コンサルタンツ 株式会社	設計資料の 共有・調整

1-8 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は次表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関連会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

(1) 河川関係

対象橋梁	位置	河川	管理者名	必要な協議	協議完了 予定
鈴鴨川橋	STA. 0+69.00～ STA. 2+26.00	一級河川 鈴鴨川	岩手県 北上土木センター	河川区域内 作業に関わ る協議	2025年12月

1-9 計画工程表

1-9-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-6 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項 目	対象構造物	備 考
構造物設計	上部工設計	鈴鴨川橋	
	橋台設計		
	橋脚設計		
	基礎工設計		
	仮設構造物設計		
	動的解析		
附帯工設計	詳細図作成		
打合せ等	報告書作成		
	設計打合せ		

1-9-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-22 に示す「打合せ」の実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告するとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-14-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果業務内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員との協議の上決定するものとする。

1-10 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-1-1 工事記録情報の作成及び提出について

(1) 共通仕様書 1-4-3-1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 5 年 7 月版とする。

(2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報完了届」（本特記仕様書様式—1）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

(3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路㈱東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-1-2 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において、発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念および意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議（以下「三者協議会」という。）」を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者との協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1-1-3 合同現地踏査

合同現地踏査は、調査等共通仕様書及び本特記仕様書 2-5 「設計打合せ」に規定されている受注者が行う現地踏査に発注者が同行して、現地状況等の把握のほか、当該業務の課題及び契約内容について確認を行うものをいう。踏査の実施時期については、受注者より協議するものとする。踏査に伴い確認した事項は、調査等打合簿に記録し、受発注者間で相互に確認するものとする。

なお、業務の追加・変更に伴い再度の合同現地踏査が必要と認められる場合、又は共通仕様書に規定のない業務において発注者がその必要性を認めた場合は実施するものとし、発注者は必要な費用を支払うものとする。

1-1-4 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における業務の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を遂行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取り組むこととする。

取組内容は、下記事項を標準として契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議のうえ実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が発生した場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議のうえ定めるものとする。

【取組み事項】

- ① 月曜日を依頼の期限日としない（マンデー・ノーピリオド）
- ② 水曜日は定時の帰宅に心掛ける（ウェンズデー・ホーム）
- ③ 土・日曜に休暇が取れるように金曜日には依頼しない（フライデー・ノーリクエスト）
- ④ 昼休みや午後 5 時以降からの打合せをしない（ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング）
- ⑤ 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない（イブニング・ノーリクエスト）
- ⑥ 金曜日でも定時の帰宅に心掛ける。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の概要

本業務は、新設するⅡ期線部の橋梁基本詳細設計を行うものであり、共通仕様書5-7「構造物設計」、5-5「附帯工設計」を適用する。

2-2 設計条件

業務の設計条件は、次のとおりとする。

- (1) 道路規格 : 第1種 第3級 B規格
- (2) 設計速度 : $V = 80 \text{ km/h}$
- (3) 車線数 : 暫定2車線供用後の完成4車線
- (4) 上下区分 : 下り線 (片車線独立)
- (5) 有効幅員 : 9.31 m
- (6) 車線幅員 : 3.50 m
- (7) 設計荷重 : B活荷重

2-3 構造物設計

2-3-1 基本設計

(1) 上部工

本設計は次に示すとおり行うものとする。

橋梁名等	構造物種別	延長 (m)	斜角 (°)	曲線	非対称形	将来の 拡幅考 慮	現橋の 拡幅設 計	類似構 造物 区分
鈴鴨川橋	PC3径間 連続箱桁	157.0	90	有 (直線桁と して設計)	非対称形 (Ⅱ)	無	無	A

(2) 動的解析

本設計では次に示すとおり耐震安全性を照査する目的で動的解析を行うものとする。動的解析は非線形性を考慮した時刻歴応答解析によるものとする。なお、検討の結果、支承条件が変更となった場合は、別途監督員と協議する。

橋梁名等	上部工形式	径間数	支承形式	橋脚形式	備考
鈴鴨川橋	PC3径間連続箱桁	3径間	支承	柱式橋脚	

2-3-2 詳細設計

(1) 下部工

本設計は次に示すとおり行うものとする。

内訳書の項目	橋梁名等	構造物種別	高さ(m)	斜角(°)	非対称形	将来の 拡幅考慮	現橋の 拡幅設計	類似構造物区分
A	鈴鴨川橋 A 1	逆T式 橋台	13.0	90	無	無	無	A
B	鈴鴨川橋 A 2	逆T式 橋台	12.0	90	無	無	無	B
A	鈴鴨川橋 P 1	柱式 橋脚	12.6	90	無	無	無	A
C	鈴鴨川橋 P 2	柱式 橋脚	11.9	90	無	無	無	C

(2) 基礎工

本設計は次に示すとおり行うものとする。

橋梁名等	構造物種別	備考
鈴鴨川橋 A 1 橋台、A 2 橋台	場所打ちぐい (機械掘削)	

(3) 仮設構造物設計

仮設構造物設計は、下部工工事の施工に要する仮設構造物の設計を行うものであり、設計位置および内容は次に示すとおりとする。

番号	対象箇所	構造物種別	備考
①	鈴鴨川橋 P 1 橋脚部	一重締切工	
②	鈴鴨川橋 P 2 橋脚部	一重締切工	

現地踏査、施工計画及び関係機関との協議等の結果、対象箇所及び構造物種別の変更、追加及び削除となった場合の取扱いについては監督員と受注者とで協議の上決定するものとする。

2-4 附帯工設計

2-4-1 詳細図作成

詳細図作成は、次に示すとおり行うものとする。

内訳書の項目	図面種類	枚数	難易度	簡易な 応力計算	備考
設計協議説明用図面作成	河川協議説明用図面	2	普通	無	P 1・P 2 橋脚
のり面工詳細図作成	護岸工図	3	普通	無	A 2 橋台、 P 1・P 2 橋脚

2－5 設計打合せ

本業務における打合せの回数は業務内容確認検査を含め、7回とする。打合せの検測数量は1式とし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。また、当初打合せ時には現場踏査を実施するものとし、この費用については別途計上しないものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横手工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

なお、完了検査はWEB方式により行うものとする。ただし、WEB方式による実施が困難な場合は、対面方式による実施について別途監督員と協議するものとする。

2－6 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には、設計打合せに必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとする。なお、設計項目及び数量が増減しても、交通費・日当・宿泊費の変更は行わないものとする。

完了検査はWEB方式にて行うため交通費・日当・宿泊費の費用は計上しないものとする。なお、協議により完了検査がWEB方式から対面方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

2－7 成果品に関する細部事項

業務の成果品提出部数は、共通仕様書1－4 5－5に基づくものとし、報告書の表紙は、黒色、金文字製本とする。

第3章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関係機関との協議・現地状況等により変更または追加する可能性があるもので、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- (1) 河川管理者等との協議による橋台及び橋脚施工位置の変更
- (2) 河川管理者等との協議による護岸工・水制工等の変更及び追加
- (3) 河川管理者等との協議による用排水構造物等の追加
- (4) 施工または支障物移転等に関する詳細図作成の追加

3-2 3次元モデルの作成について

監督員は、本設計成果物の一部として、C I M (Construction Information Modeling /Management) に基づく取り組みを指示する場合がある。その場合においては、受注者は監督員の指示に従うものとし、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

監督員

殿

受 注 者
管理技術者

印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名			
調 査 等 名			
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。